

第 1 回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【 1 】開催

日 時 平成 20 年 6 月 21 日（土） 午前 10 時～午後 0 時 15 分
場 所 稲毛区役所 3 階 講堂
出席者 委員 18 人（29 人中）、ガイドヘルパー 1 人、手話通訳者 2 人、
事務局 8 人（稲毛区長、稲毛福祉サービス課 4 人、千葉市社会福祉協議会
稲毛区事務所 3 人）、市保健福祉総務課 4 人

【 2 】次第

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 事務局紹介
- 5 議題（ 1 ）会議の公開について
（ 2 ）委員長・副委員長の選任について
（ 3 ）本年度の地域福祉計画推進に係る展開について
（ 4 ）平成 19 年度地域福祉パイロット事業の報告について
（ 5 ）今後のスケジュールについて
（ 6 ）その他
- 6 閉会

[3 委員紹介]

- ・ 委員の変更があった。千葉市老人クラブ連合会から推薦された委員が変更となり、平成 20 年度から新たに推薦された石原委員を紹介した。その他の委員については変更なし。

【 3 】議事の要旨及び発言要旨

議題（ 1 ）会議の公開について

事務局が会議の公開について以下のとおり説明した。

区推進協議会は公開で行うことになっているので、傍聴人がいた場合は入室していただく。

また、会議録の作成及び広報等の関係から写真撮影、録音等を行わせていただきたい旨説明した。

- ・ 特に質問なし

議題（ 2 ）委員長・副委員長の選任について

田中福祉事務所長が仮議長となり、設置要綱第 5 条第 2 項に基づき委員長、副委員長

が互選された。

主な発言内容は以下のとおり。

- (仮議長) 設置要綱第5条第2項によると委員長、副委員長は委員の互選により選出することになっている。選出の方法について意見があればお願いしたい。
- (委員) 特に意見なし。
- (仮議長) 特に意見が無いようであれば、自薦あるいは他薦でお願いしたい。
- (委員) 区地域福祉計画策定時の地区フォーラム委員でもあった鈴木委員を推薦したい。
- (仮議長) 鈴木委員との推薦があったがいかがか。
- (委員) 飯田委員がいいのではないか。
- (委員) せっかく推薦をいただき申し訳ないが、忙しいこともあり、また一委員として発言をしたいので委員長は引き受けられない。 飯田委員辞退
- (委員) 委員長は1年毎に交代しなければいけないのか。
- (仮議長) 委員長の任期は1年であるが、委員長の再任は妨げないことになっている。
- (委員) 鈴木委員も区地域福祉計画策定時から係わっていただいております適任だと思うが、できれば継続的に進行を行ったほうがよいのではないか。
- (仮議長) 具体的な推薦はあるか。
- (委員) 昨年、委員長であった原田委員を推薦したい。
- (委員) 昨年の委員長も鈴木委員も区計画策定時(地区フォーラム)から一緒に係わってきた。男性、女性の立場から区地域福祉計画をまとめてほしいので、田村委員を推薦したい。
- (仮議長) 現在、鈴木委員、原田委員、田村委員の3名が推薦されている。他に推薦はあるか。
- (委員) 申し訳ないが、仕事の都合で出席できない日があるかもしれないので辞退したい。計画当初から係っている方が非常に多いので、できれば山田委員を推薦したい。 田村委員辞退
- (委員) 私はファミリーサポートの仕事をしているので、子どもを預かる機会が多いため、せっかく推薦をしていただいたが辞退したい。原田委員と鈴木委員にお願いしたい。 山田委員辞退
- (仮議長) 現在、鈴木委員と原田委員が候補として挙がっている。この2名の中から選出するというだけでよいか。
- (委員) 異議なし。
- (仮議長) それでは、この2名で進めさせていただきたい。投票の方法について挙手による方法と無記名で投票用紙に記入する方法があるが、どちらがよろしいか。
- (委員) この場で投票、選挙で選ぶのではなく、2人で委員長、副委員長をやっていただきたい。委員長は司会進行が主であり、各意見をまとめなくてはいけないため、地区連会長であり、地区部会長でもある鈴木委員に委員長、新鮮な意見を多数持っている原田委員にはどんどん自分の意見を言ってほしいということから副委員長をやっていただき、委員長のサポート役をお願いしたい。

- (委員) おっしゃっていることはもっともである。しかし、若い方が取りまとめをするというのも意味があると思う。
- (仮議長) 今までの話しの流れで、当初委員長の選任までと思っていたが、この2人で委員長、副委員長を決めるということによろしいか。
- (委員) 異議なし。
- (仮議長) 鈴木委員と原田委員の2人で話し合っただけで決めるということによろしいか。
- (委員) せっかく推薦をいただいたのだが、現在のこの区推進協議会は、非常に魅力がない会議になってしまっている。本日の出席率を見ても分かるでしょう。最初のスタートが間違っていたと思う。稲毛区地域福祉計画の5ヵ年計画の5つの基本方針を稲毛区内の社協各地区部会が中心となり諸団体等と協力して実施していかなければならなかったのではないかと思う。また、この場で情報を共有化し、各地区に周知していかなければいけなかったのではないかと思う。
- (仮議長) 貴重な意見をいただきました。委員の方々のお力添えをいただきながらより良い方向へ導いていただきたいと思います。
- (委員) 2人で話し合うのではなく、投票なり挙手で決めていただきたい。
- (委員) なかなか修正できなかった区推進協議会だが、経験をしている人、地域で活動している人に福祉の歴史を考えていただきたいということで鈴木委員に託し修正していただきたい。委員長というのは、自分の意見を言うのではなく、各委員の意見をまとめる立場でなければいけないと思う。原田委員の昨年の進行を見ているとご自分の意見がたくさんあるようなので、市民活動をサポートしているという立場で様々な意見を区推進協議会の場でお話しいただきたいので原田委員には委員長のサポートを含めて副委員長をお願いしたい。
- (委員) この場は、議論をする場である。なぜこの会議に魅力がないかということ、今まではこのような議論が全くなかったからではないか。先程の区推進協議会のあり方に関する発言は素晴らしかった。今までは、ただ単に情報交換、行政のお願いを聞くだけの場であった。私も是非鈴木委員に委員長を務めていただきたい。
- (仮議長) 委員長に鈴木委員、副委員長に原田委員をとの声があるが、これについて承認をいただけるか。
- (委員) 拍手～異議なし。
- (仮議長) それでは、委員長に鈴木委員、副委員長に原田委員ということで決定したい。

議題(3) 本年度の地域福祉計画推進に係る展開について

市保健福祉総務課が本年度の地域福祉計画推進に係る展開について以下のとおり説明した。

千葉市地域福祉計画推進モデル事業について

区民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう地域全体で支え合い助け合う仕組みをつくることを目指し、市では区地域福祉計画を策定している。この区地域福祉計画を具体的に実践していくために、区計画に位置づけた取組項目を新た

に実践する団体等に対して助成を行う「千葉市地域福祉推進モデル事業」を実施することを説明した。

助成金額は、上限 15 万円（助成期間は、平成 20 年、21 年度の 2 年間）

助成団体数は、各区 2 団体

募集期間は、平成 20 年 7 月 31 日まで

詳しくは、各区説明会を実施するので参加してほしい。

稲毛区 7 月 5 日（土）15:30～16:30 穴川コミュニティセンター

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

以下発言者について、市保健福祉総務課は（保福総）とする。

- （委員長）地域福祉パイロット事業に似ている感じがするが……。あまり検討する期間がないが地域に持ち帰っていただき各地区部会等に相談し検討していただければと思う。
- （委員）地区部会の方々は、事前にこの話を聞いていたのか。募集期間は、7 月 1 日～7 月 31 日までと 1 ヶ月ほどしかないが、地区に持ち帰って議論するのが難しいのではないかと。
- （委員長）実際に私もこの場で話を聞いた。1 ヶ月でどうするかということもあるが、地区部会内の会議でこの話を提案したいと考えている。
- （委員）はたして行政としてこのような在り方でいいのか。
- （保福総）応募期間が短いので、区計画の 35 の取組項目にジャストフィットする事業を新たに考えるということはなかなか難しいと思う。そこで、皆さんが実施している事業をリニューアルなどして区計画の取組項目に位置づけていただければと思う。
- （委員）公募の委員が地元と密着していないと言われるがそんなことはない。実際に私達が係って実現したパイロット事業もある。他の公募委員もそれぞれ地域で活動している。
- （委員）私が係ったパイロット事業は、企画から 3 年間を要した。情報はなるべく早めに教えてほしい。
- （委員）審査の方法について詳しく知りたい。
- （保福総）審査の着眼点としては、持続性・継続性のある取り組み、主体的な取り組み、先導的・モデル性のある取り組み、地域のニーズにマッチした取り組み、確実性・計画性のある取り組みがポイントとなる。

区地域福祉計画の取組状況の把握について

現在、区地域福祉計画が策定されて 2 年が経過し、本年度は計画期間（平成 18 年度～22 年度）の中間年にあたることから、地域福祉計画に位置づけられた取組項目がどのように実践されているかを、地域福祉計画推進協議会で情報を共有していきたいと考えている。よって、委員の方々にも既に実施されている取組内容、もしくは知っている取組内容について、情報をいただきたいと説明した。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

以下発言者について、市保健福祉総務課は（保福総）とする。

- （委員長）この情報提供用紙は福祉の内容なので、市へ提出する前に地区部会にも情報を提供していただきたい。
- （保福総）この地域福祉計画の取組状況調査表は、保健福祉総務課と区社協の担当者が現段階で知り得ている情報を掲載させていただいた。この情報は、皆様からいただく情報を蓄積し随時更新していきたいと考えている。
- （委員）ここにいる委員だけではなく、町会・自治会など各団体等に周知したほうがよいのではないか。
- （保福総）できれば委員の皆さんが地域の団体の方々に会う機会があった際にお話を聞いていただき情報提供してほしい。
- （委員）もっとPRしたほうがよい。
- （保福総）例えば、千葉市町内自治会連絡協議会に依頼した場合、約1,000箇所以上あるのでとても集計できる状態ではなくなってしまう。今回の把握が最後ではないので、一応、今回はこのような形でお願いしたい。
- （委員長）地域には自治会や地区部会があるので、できるだけ地域の中でPRして実施していった方がよい。情報の共有化を認識していただいて、互いに情報提供をお願いしたい。

議題（４）平成19年度地域福祉パイロット事業の報告について

前回の区推進協議会において稲毛区において実施した地域福祉パイロット事業の事業経過報告を地区部会所属の委員及び各団体所属の委員が行ったが、山王地区部会の事業については、前年度最終回の区推進協議会開催後に事業を実施したので簡単に報告を行った。

山王地区部会 【山王地区発、心のバリアフリープロジェクト】

今回、山王地区部会が地域福祉パイロット事業を申請した際の条件（第2回募集要件）として、NPO法人と協力して実施するということであった。

交流・体験プログラム「お楽しみ会」を山王小学校体育館で開催した。当日は91名の参加者があり、地区部会関係者や自治会関係者、中学生や大学生のサークルの方等、多様な方に参加していただいた。

また、活動報告書には掲載していないが、試作品として心のバリアフリーマップを作成している。これは、現地調査を行い地域にある様々な施設や危険箇所等を掲載したものである。このマップは少しずつ改良し、山王地区（工場、企業が多い）の企業等に配布し通勤時に注意をしてほしいという目的がある。

活動紹介・意見交換会は、参加者約10名だった。今後、継続していく上で数多くの参加者を募り意見交換をしていければと思う。

来年度以降もこの事業は継続していく予定なので、時間の都合がつけば是非参加してほしい。

- ・特に質問なし

次に、事務局が平成 19 年度地域福祉パイロット事業について以下のとおり説明した。

平成 19 年度に実施した地域福祉パイロット事業は、千葉市全体実績として 26 の地区部会により 27 の事業が展開された。稲毛区においては、4 地区部会から 4 つの事業が展開された。地域福祉パイロット事業が各地区においてより良い事業となるために、区推進協議会の委員の方々より参考となる意見をいただき、それぞれ特徴のある事業が展開された。

また、千葉市社会福祉協議会では、平成 19 年度に実施した地域福祉パイロット事業 27 事業を掲載した活動報告書を作成した。次回、推進協議会において委員の方々に配布する予定である。

- ・特に質問なし

議題（５）今後のスケジュールについて

事務局が今後のスケジュールについて以下のとおり説明した。

昨年同様、区推進協議会の開催は年４回を予定しており、第２回は８月下旬～９月上旬、第３回は１１月下旬～１２月上旬、第４回は２月上旬～３月上旬を予定している。開催曜日については、昨年アンケートを実施し、土曜日の午前中という希望が多数あったので、平成 20 年度も基本的には土曜日の午前中で調整したいと考えている。

また、内容については資料 6 に（案）として掲載してあるが、今後、委員長、副委員長と協議して決めていきたい。

次回の区推進協議会の日程については、８月の第４週か第５週の土曜日に開催を予定している。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

（委員長）事務局（案）の第４週か第５週で決めさせていただいてもよいか。ちなみに第４週は何日か。

（事務局）第４週は 23 日で、第５週は 30 日である。

（委員長）それでは、第４週の 23 日で皆さんいかがか。

特に何も意見が無いようなので、一応、次回の区推進協議会は 23 日としたい。

議題（６）その他

区役所の駐車場の使用について

道路拡張工事のため穴川神社側の駐車場が駐車できる台数が大変少なくなっているため、長時間を要する会議やコミュニティセンターを利用する場合はなるべく放医研側の駐車場を利用してほしい。

市地域福祉計画推進協議会について

本年度千葉市では、市地域福祉計画推進協議会を設置する。千葉市政だよりの6月15日号に市地域福祉計画推進協議会の委員募集の記事を掲載した。委員総数は20名程度を予定しており公募委員は3名程度を予定している。公募委員の募集期間は6月15日～7月14日までとなっている。

市地域福祉計画について、建設的な意見を提案していただける方からのたくさんの応募をお待ちしている。

以 上